

1. ターゲット

明石市観光振興基本構想をもとに、明石の観光におけるターゲットを整理する。

1.1 明石市観光振興の基本方針

戦略的な観光振興のためのターゲットとしては、「明石に日帰りできる近畿圏」や「海から遠い近畿圏の内陸地域」の日帰り客をターゲットとし、「交流人口の増加」と「観光客が市内に滞在する時間の延長」を図ることとしている。

ただし、宿泊客についても否定している訳ではない。

戦略的観光振興のためのターゲット設定

■ 誘客地域

- ・【主】 明石に日帰りできる近畿圏 ⇒ 日帰り客
- ・【主】 海から遠い近畿圏の内陸地域 ⇒ 日帰り客、明石海峡を挟む広域観光客
- ・【従】 首都圏、九州、遠隔地 ⇒ 明石海峡を挟む広域観光客
- ・【従】 在日外国人、東アジアを中心とする訪日外国人

■ 誘客時期

- ・ 通年で楽しめる観光魅力づくりで、リピーターを飽きさせない。

■ 誘客魅力

【主】 「海」「海のまち」の魅力 ⇒ 個人(年代別に魅力づくり)

全国でも海岸を有する自治体は数多くあるが、とりわけ明石は、世界最長の明石海峡大橋を望むダイナミックな景観や淡路島を眼前に臨むことができる風光明媚な眺望は訪れる人を魅了する。また、夏には遠方からも多く訪れる海水浴客でにぎわう砂浜海岸や海峡から獲れるまえもんの海産物など海の恵みが豊富な海の魅力に満ちたまちである。

【主】 「魚食文化」の魅力 ⇒ 個人(大人)、団体(中高年、教育旅行)

明石鯛や明石だこは、全国的にも一定の知名度を有しており、そのブランド力から魚のまちとしても有名である。

市内には、寿司店や高級日本料理店が数多くあり、観光客にも食の魅力をアピールし、市内消費額を増やしている。

【従】 海岸デートスポットの魅力 ⇒ 個人(若者)

大蔵海岸は、世界一の吊り橋・明石海峡大橋の全景や淡路島を望むことができる絶景の観光スポットであり、大蔵海岸の美しい景観は、「海峡のまち・明石」の貴重な観光資源である。

夜にはライトアップされた明石海峡大橋を眺めながら散策ができる大蔵海岸はデートスポットとしても人気がある。